



玉名市立小天小学校

学級数 9学級
児童数 124名

玉名市小中一貫教育…玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

＜天水中学校区教育目標＞

郷土を愛する豊かな心をはぐくみ、お互いが交流しながら確かな学力を身に付け、健康な生活を送ることができる国際感覚をもった日本人を育成する。

＜天水中学校区でめざす子ども像＞

知：自ら学ぶ態度や望ましい学習習慣の形成を図り、確かな学力を身に付ける。

徳：感性豊かな心を持ち、生命を大切にする。基本的な生活習慣を身に付け、規範意識を理解し、生き生きと生活する。

体：生涯を通して、健康・体力づくりに積極的に取り組む。危険を予測し回避する能力を身に付け、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる能力を身に付ける。

＜教育目標＞

確かな学力を身に付け、心身ともにたくましく、夢に向かって伸びる小天っ子の育成

＜気づき・考え・行動する小天の子＞

① 思いやりのある子ども

② 明るくたくましい子ども

③ 学び考える子ども

1 小天小学校プライド ～小天小で大切にしているもの～



本校区内には、夏目漱石の小説「草枕」ゆかりの地で文化的所産があり、眺望がよく県内外からの利用者が絶えない温泉施設もあります。保護者は、みかん等柑橘類栽培やイチゴ、メロン、ナスなどハウス園芸をする農家が多いものの、会社勤め等の家庭もだんだんと増えてきています。また、三世帯同居の家庭も多く、運動会では、おじいさんやおばあさん方もたくさん応援・参加していただきました。また、授業参観時など出席率は大変高く、学校教育に対して協力的です。さらに、PTA活動がとて盛んです。5月には美化作業や交通教室、お米の苗床づくり、運動会準備、運動会等で大変お世話になりました。運動会では、PTA競技「綱引き」「三輪車リレー」「四人五脚」など童心に還って楽しく参加されて運動会を盛り上げて下さいました。7月以降は、救急救命法講習会やバザー、親子美化作業、資源回収等でお世話になります。



124名の児童は、素直で明るく学年や男女を問わず仲がよく、1年生から6年生までを8つのグループに分けて縦割り班による掃除活動が行われています。現在「黙って静かに協力しながら掃除をすること」を目標にして取り組んでいます。左の写真は掃除終了時の振り返りの場面です。仲良く協力しながら、責任を持って自主的に取り組んでいる子どもたちの姿はほほえましいものです。さらに、月2回の全校体育の時も縦割り班で活動を行っています。これらの活動を通して互いのコミュニケーションをさらに図っています。



5月28日は、素晴らしい天気にも恵まれて開催された運動会でした。「綱引き」では、全学年が紅白に分かれて、歯を食いしばりながら綱を引いていました。徒走もリレーもゴールを目指して全力で頑張っていましたし、1年から3年生で取り組んだ「世界に一つだけの花笠音頭」はとても自信満々で演技していました。また、4・5・6年生で取り組んだ「YOSAKOIソーラン・組体操」は圧巻の出来映えでした。特に、組体操では、練習の成果が出てこれまでで一番の完成度でした。演技終了後、子どもたちの表情がとて満足げで最高の笑顔が見られました。



本校は、ミニバスケット部と総合運動部があります。総合運動部では、4月に芦北町で開催された「熊本県小学生選抜相撲大会」に出場しました。ミニバスケットボール部は、6月24日に行われた「玉名郡市ミニバスケットボール六月大会男女混合の部」で優勝しました。また、7月28日には「天水町三校親善相撲大会」で、主に5・6年生を対象に参加者を募って開催されます。総合運動部の児童も参加する予定です。



2 小天小学校の学びの足跡



～授業改善・学力向上～

本校では、玉名市教育委員会学力充実(向上)研究推進校の指定を受けた後、言語活動を効果的に位置づけた国語の授業づくりを通して、言葉適切に使い、思いや考えを伝え合い、学び合う小天っ子の育成を目指してきました。身に付けさせたい力を明確にし、共感的な評価活動の充実に焦点を当て、実践を通して研究を深め、昨年度は自主研究発表会4回目の公開授業研究会を開催しました。左は、本年度の校内研修の事前研の様子です。



＜研究テーマ＞

**言葉を適切に使い、思いや考えを伝え合い、学び合う小天っ子の育成
～表現のよさを実感できる言語活動を通して～**

本年度は研究テーマの達成のために、県立教育センターの指導主事を招聘して指導を仰ぎながら、さらに研究を推進していきます。

研究内容は、授業で自分自身を見つめ、しっかり考えたことを基に、集団で多様な考えを交わし合い、相互に関わりながら自分の考えや集団の考えを高めて「書く力」を高めていくことをねらっています。他者と積極的に関わりながら自分の考えを吟味し、新しい考えを取り入れて、自分の考えや集団の考えを更に深化・発展させていく伝え合い学び合いの力を育成したいと考えています。研究成果の一つとして、標準学力検査や熊本県学力調査では、全国や県の平均を上回ることができました。これは国語科を中心とした校内研修を軸に、授業や日常生活で言語活動を充実させる取組を学校総体として図ってきた成果だと考えています。ただ、個別指導のあり方を検討することや相手の考えにじっくり耳を傾けて、相手の考えと自らの考えを比較しながら、自らの体験を交えてまとめたり発言したりする力をさらに伸ばす必要があるという課題が見えてきましたので、今後も更なる授業の改善と向上を目指していきます。



★ノート検定・今月のグッドノートの取組

ノートの書き方を身に付け、より良いノート作りへの関心意欲を高めながら、学習内容の定着を図ることをねらいとして毎月1回(第4週のぐんぐんタイムで)「ノート検定」を体育館で実施しています。

全校で統一した「検定のポイント」を作成して子どもたちに示すことで、より良いノート作りへの意識を高めています。ノート検定のポイントは、次のようになっています。

- ①日付けとめあてを書いているか。
- ②線は定規を使って引いているか。
- ③丁寧に書いているか。
- ④濃い字で書いているか。
- ⑤振り返りやまとめを書いているか。
- ⑥落書きをしていないか。
- ⑦友達の意見を聞き、書き加えたり、書き直したりしているか。

検定に合格した児童の中から、各担任が学級から2名のノートを選び、「今月のグッドノート」として校内に掲示しています。7年間ずっと続けているこの取組は、小天小の誇りの1つです。



3 避難訓練の取組



落下物から頭を守る



第1次避難(グラウンド)



第2次避難所へ移動

本年度も、様々な自然災害等に備えて、避難訓練を計画・実施しています。6月には、避難経路の確認と地震津波避難訓練を実施しました。まず、室内から室外に避難した後、第1避難場所(グラウンド)から第2次避難場所(学校の裏山)まで約500Mほどを移動する訓練を実施しました。裏門から出て道路を横断し車が頻繁に往来する上り坂を一気に移動する訓練でした。1年生の児童は、6年生に手をつないでもらいながら急な上り坂を素早く移動することができました。

次回は、保護者にご協力をいただきながら、訓練を実施する予定です。